

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林ふれあい推進センター・こだま通信



箕面市立萱野北小学校生を対象に

「オオクワガタの棲める森づくり下刈体験イベント」を開催

箕面森林ふれあい推進センターでは6月30日(月)に大阪府北部の箕面国有林において箕面市立萱野北小学校5年生53名を招いて「オオクワガタの棲める森づくり下刈体験イベント」を開催しました。

梅雨にあたるこの時期、梅雨の合間の好天で薄雲がかかる穏やかな日となり、子どもたちにとっても気持ち良く取り組みました。

開会式の後、心と体をほぐすため「イモムシじゃんけん」(負けた人が後ろにつながっていく)をして、芝生広場の中を歩きながら勝ち進んで、最後に1列になるまで進めました。最後まで残った4名には記念品として「サクラヤンマ」(サクラの枝で作ったトンボの標本)と木製キーホルダーをプレゼントしました。

午前中は、「オオクワガタの棲める森づくり」箇所での下刈り体験と植樹体験を行いました。下刈り体験では、日本森林ボランティア協会の皆さんから、なぜ下刈りをするのかや下刈り鎌の安全な使い方などの指導を受けた後、実際に鎌を使って下刈り作業の体験を行いました。「気持ち良く草が刈れて、すごく楽しい。」とどんどん刈る子どもや、男の子も女の子も「私もやりたい」と積極的に鎌を使って草を刈ることに熱中するなど、初めての体験にはしゃいでいました。植樹体験は、4~5人で班となって2本ずつ、クヌギやコナラ、ヤマザクラを、鍬で見る見る穴を掘ってあっという間に植えていました。植えた場所を覚えておいて、何年後かにまた見に来れば、今度来た時には大きく育っていることでしょう。

午後は、「森の探検隊」として、12班に分かれ「箕面体験学習の森」の中に設定した31箇所の探検ポイントの中から、5箇所以上を探検しました。地図からポイントを探し出すと、そこには指令書とヒントの封筒があり、指令書に書かれた謎を解き明かしていくものです。



植付け作業遠景



下刈り体験



「昆虫の集まる木」コクワガタの観察

各ポイントは、防鹿柵や台場クヌギのことなどが、学習できる内容となっています。一番人気があったのは「昆虫の集まる木」で、はしごを登って木のうろの中を懐中電灯で覗いて「あー！コクワガタがいるー」と歓声が上がっていました。ほかにも、ニガイチゴ・ナガバモミジイチゴの実を食べて見るなど、初めて体験することが多かったのではないのでしょうか。森のエビフライ（リスの食べた松ぼっくりの芯）にも人気があり、子どもたちが、「エビフライそっくりー」となんでこうなったか推理、そばに落ちていた松ぼっくりを剥き始め「ほら！エビフライに形が近くなった」と、その犯人捜しで「リスが食べた？」「リスいるのかなー」と班内で議論し、後でヒントを読んで「やっぱり！！あった」と満足そうな様子でした。大阪府の箕面公園昆虫館の久留飛館長にも協力いただき、子どもたちの昆虫の質問などに答えて頂きました。

後日、学校で各班からの発表会を計画しており、自分たちの体験したことをどのように話してくれるのか楽しみです。この日の経験が、森林や林業、自然などへ目を向けるきっかけになればとスタッフ一同願いながらイベントを終了しました。



「森のエビフライ」の観察



久留飛館長の昆虫解説

箕面国有林において、ニホンジカの個体数管理を開始しました。

箕面国有林では、ニホンジカの食害により希少な植物が減少したり、植えた苗木を食べられるなどの被害が発生していました。このため、くくり罠、箱罠によるニホンジカ等の個体数管理を実施しています。実施箇所では、注意標識を設置するなど、入山者の皆様に注意喚起を行っています。



林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

箕面森林ふれあい推進センターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

TEL:06-6881-2013/FAX:06-6881-2055

URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/index.html

〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局3F

